



正しく動作せず「故障かな?」と思ったときに参照してください。

日常の保守(→272ページ)	.ストリーミングサーバを日常使う上で確認しなけ ればならない点やファイルの管理、クリーニング の方法について説明します。
障害時の対処(→276ページ)	.故障かな?と思ったときに参照してください。 トラブルの原因の確認方法やその対処方法につい て説明しています。

ストリーミングサーバ全般の運用について説明した[Express Server Management Guide]も参考 にしてください。[Express Server Management Guide]は、オンラインドキュメントまたは次の ホームページより参照することができます。

『NEC8番街』 http://nec8.com/

# 日常の保守

ストリーミングサーバを常にベストな状態でお使いになるために、ここで説明する確認や保守を定期的に 行ってください。万一、異常が見られた場合は、無理な操作をせずに保守サービス会社に保守を依頼して ください。

# アラートの確認

システムの運用中は、ESMPROで障害状況を監視してください。 管理PC上のESMPRO/ServerManagerにアラートが通報されていないか、常に注意する よう心がけてください。ESMPRO/ServerManagerの「統合ビューア」、「データビューア」、 「アラートビューア」でアラートが通報されていないかチェックしてください。



#### ESMPROでチェックする画面

# ステータスランプの確認

ストリーミングサーバの電源をONにした後、およびシャットダウンをしてストリーミング サーバの電源をOFFにする前に、ストリーミングサーバ前面にあるランプや、3.5インチ デバイスベイに搭載しているハードディスクドライブのランプの表示を確認してください。 ランプの機能と表示の内容については1章をご覧ください。万一、ストリーミングサーバの 異常を示す表示が確認された場合は、保守サービス会社に連絡して保守を依頼してください。

# バックアップ

定期的にストリーミングサーバのハードディスクドライブ内の大切なデータをバックアップ することをお勧めします。ストリーミングサーバに最適なバックアップ用ストレージデバイ スやバックアップツールについてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ハードウェアの構成を変更したり、BIOSの設定を変更したりした後は、オフライン保守ユー ティリティの「システム情報の管理」機能を使ってシステム情報のパックアップをとってくだ さい。詳しくは3章を参照してください。

ディスクアレイを構築しているシステムでは、ディスクアレイのコンフィグレーション情報 のバックアップをとっておいてください。また、ハードディスクドライブの故障によるリビ ルドを行った後もコンフィグレーション情報のバックアップをとっておくことをお勧めしま す。コンフィグレーション情報のセーブは添付のEXPRESSBUILDER CD-ROMを使用しま す。5章を参照してください。

# クリーニング

ストリーミングサーバを良い状態に保つために定期的にクリーニングしてください。



### 本体のクリーニング

ストリーミングサーバの外観の汚れは、柔らかい乾いた布でふき取ってください。汚れが 落ちにくいときは、次のような方法できれいになります。

- ● シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤は使わないでください。材質のいたみや変色の 「三要 原因になります。
  - コンセント、ケーブル、ストリーミングサーバ背面のコネクタ、ストリーミングサーバ 内部は絶対に水などでぬらさないでください。

- 1. ストリーミングサーバの電源がOFF(POWERランプ消灯)になっていることを確認する。
- 2. ストリーミングサーバの電源コードをコンセントから抜く。
- 3. 電源コードの電源プラグ部分についているほこりを乾いた布でふき取る。
- 4. 中性洗剤をぬるま湯または水で薄めて柔らかい布を浸し、よく絞る。
- 5. ストリーミングサーバの汚れた部分を手順4の布で少し強めにこすって汚れを取る。
- 6. 真水でぬらしてよく絞った布でもう一度ふく。
- 7. 乾いた布でふく。
- 8. 乾いた布で装置背面にある吸気口や排気口に付着しているほこりをふき取る。

## キーボード/マウスのクリーニング

キーボードはストリーミングサーバおよび周辺装置を含むシステム全体の電源がOFF (POWERランプ消灯)になっていることを確認した後、キーボードの表面を乾いた布で拭い てください。

マウスが正常に機能するためには、内部のマウスボールがスムーズに回転できる状態でなけ ればなりません。マウスボールの汚れを防ぐためにほこりの少ない場所で使用して、定期的 に次の手順でクリーニングしてください。

- 1. ストリーミングサーバの電源がOFF(POWERランプ消灯)になっていることを確認する。
- マウスを裏返してマウスボールカバーを 反時計回りに回して中からマウスボール を取り出す。
- マウスボールを乾いた柔らかい布などで ふいて、汚れを取り除く。

汚れがひどいときはぬるま湯または水で 薄めた中性洗剤を少量含ませてふいて ください。

 マウス内部にある3つの小さなローラを 綿棒などでふく。

汚れがひどいときはアルコールなどを 少量含ませてふいてください。

5. マウスボールをマウスの中に戻す。

手順3、4でマウスボールやローラをぬら した場合は、十分に乾燥させてからボー ルを入れてください。

6. マウスボールカバーを元に戻して、時計 回りに回してロックする。



# CD-ROMのクリーニング

CD-ROMにほこりがついていたり、トレーにほこりがたまっていたりするとデータを正しく 読み取れません。次の手順に従って定期的にトレー、CD-ROMのクリーニングを行います。

- 1. ストリーミングサーバの電源がON(POWERランプ点灯)になっていることを確認する。
- CD-ROMドライブ前面のCDトレーイジェクトボタンを押す。 トレーがCD-ROMドライブから出てきます。
- 3. CD-ROMを軽く持ちながらトレーから取り出す。

### 

CD-ROMの信号面に手が触れないよう注意してください。

4. トレー上のほこりを乾いた柔らかい布でふき取る。

#### **₩**O iii

CD-ROMドライブのレンズをクリーニングしないでください。レンズが傷ついて誤動作の原因となります。

- 5. トレーを軽く押してトレーをCD-ROMドライブに戻す。
- 6. CD-ROMの信号面を乾いた柔らかい布でふく。

#### **₩**O IIII

CD-ROMは、中心から外側に向けてふいてください。クリーナ をお使いになるときは、CD-ROM専用のクリーナであることを お確かめください。レコード用のスプレー、クリーナ、ベンジ ン、シンナーを使用すると、ディスクの内容が読めなくなった り、ストリーミングサーバにそのディスクをセットした結果、 故障したりするおそれがあります。



## テープドライブのクリーニング

テープドライブのヘッドの汚れはファイルのバックアップの失敗やテープカートリッジの損 傷の原因となります。定期的に専用のクリーニングテープを使ってクリーニングしてくださ い。クリーニングの時期やクリーニングの方法、および使用するテープカートリッジの使用 期間や寿命についてはテープドライブに添付の説明書を参照してください。

EXPRESSBUILDERに格納されているユーティリティ「テープ監視ツール」を本装置にインス トールしておくと、テープドライブやテープカートリッジの状態を監視し、クリーニングの 要求やドライブの異常などをポップアップメッセージとして表示したり、異常の詳細をイベ ントログに記録したりすることができます。インストールについては5章またはオンライン ドキュメントを参照してください。

# 障害時の対処

「故障かな?」と思ったときは、ここで説明する内容について確認してください。該当することがらがある 場合は、説明に従って正しく対処してください。

# 障害箇所の切り分け

万一、障害が発生した場合は、ESMPRO/ServerManagerを使って障害の発生箇所を確認 し、障害がハードウェアによるものかソフトウェアによるものかを判断します。 障害発生個所や内容の確認ができたら、故障した部品の交換やシステム復旧などの処置を 行います。

障害がハードウェア要因によるものかソフトウェア要因によるものかを判断するには、 ESMPRO/ServerManagerが便利です。



ESMPRO/ServerManager上で本装置を監視している際に、本装置を示すアイコンが[警告] (黄色)や[異常](赤色)を示した場合、本装置が故障した可能性があります。この場合、以下 の手順でどの部分に異常・警告が発生しているかを特定し、対処を行ってください。

- 1. ESMPRO/ServerManagerのウィンドウで、左側のツリー構造上の対応するストリーミングサー バを示すアイコンを右クリックする。
- 2. メニューから「データビューア」を選択する。
- 3. データビューアのウィンドウで、異常·警告の出ているアイコンを探し、その発生箇所を特定する。

各構成情報のツリーを開いていくこと で、その部品の詳細情報を見ることがで きます。

例えば、「ストレージ」--「ハードディス ク」--「[1]ハードディスク」--「xx情報」な どを参照することで、このハードディス クの詳細な情報が表示されます。

詳細は、ESMPRO/ServerManagerのヘル プを参照してください。ESMPRO/ ServerManagerのヘルプはインストールし た管理用PCの「スタート」メニューから [ESMPRO]を選んで表示されるメニューか ら[ESMPRO/SM]や[データビューア]のヘ ルプを選択してください。

読書415259.059 - (voxxyyrzzzwww@mm_A0MBV)   ファイルビー 編集句 表示い アールロ オフラックの くわつせ	
Server Server Server Server Server Server Server Server	<u>_</u>
stop to try = 50 million Revertie Wake Lip Tool <del>31 w 2 w 2</del> Revertie Wake Lip Tool	
	_
<u></u>	

# サーバの確認 ~IDスイッチ~

複数のストリーミングサーバを1つのラックに搭載して いる場合、保守をしようとしている装置がどれであるか を見分けるために装置の前面および背面にある「IDラン プ」で確認します。

前面にあるIDスイッチを押すとIDランプが点灯します。 もう一度押すとランプは消灯します。

ラック背面からの保守は、暗く、狭い中での作業となり、正常に動作しているストリーミングサーバの電源や インタフェースケーブルを取り外したりするおそれがあ ります。IDスイッチを使って保守するストリーミング サーバを確認してから作業をすることをお勧めします。





# POSTのチェック

POST (Power On Self-Test)は、ストリーミングサーバのマザーボード内に記録されている自己診断機能です。

POSTはストリーミングサーバの電源をONにすると自動的に実行され、マザーボード、メモリ、CPU、キーボード、マウスなどをチェックします。また、管理PCからMWAを起動し、本体に接続すると管理PC上にPOST実行内容が表示され、各種のBIOSセットアップユーティリティの起動メッセージなども表示します(MWAからの接続方法については、5章の「MWA」で説明しています)。

ストリーミングサーバの出荷時の設定では管理PCと通信されて いない場合、POSTを実行している間、ディスプレイ装置には 「NEC」ロゴが表示されます。





「NEC」ロゴの表示中に<Esc>キーを押さなくても、はじめからPOSTの診断内容を表示させ ることができます。6章の「システムBIOS」の「Advanced」にある「Boot-time Diagnostic Screen」の設定を「Enabled」に切り替えてください。

POSTの実行内容は常に確認する必要はありません。次の場合にPOST中に表示される メッセージを確認してください。

- 「故障かな?」と思ったとき
- 電源ONからOSの起動の間に何度もビープ音がしたとき
- ディスプレイ装置に何らかのエラーメッセージが表示されたとき

## **POSTの流れ**

次にPOSTで実行される内容を順を追って説明します。

- システムの構成によっては、ディスプレイの画面に「Press Any Key」とキー入力を 要求するメッセージを表示する場合もあります。これは取り付けたオプションのボード のBIOSが要求しているためのものです。オプションの説明書にある説明を確認 してから何かキーを押してください。
  - オプションのPCIボードの取り付け/取り外し/取り付けているスロットの変更をして から電源をONにすると、POSTの実行中に取り付けたボードの構成に誤りがあること を示すメッセージを表示してPOSTをいったん停止することがあります。

この場合は<F1>キーを押してPOSTを継続させてください。ボードの構成についての 変更/設定は、この後に説明するユーティリティを使って設定できます。

 電源ON後、POSTが起動し、メモリチェックを始めます。ディスプレイ装置の画面左上に基本 メモリと拡張メモリのサイズをカウントしているメッセージが表示されます。また、画面下に 以下のメッセージが表示されます。

 $\label{eq:press} Press < ESC> to view diagnostic messages, < Space> to abort memory test \\ Press < F2> to enter SETUP, <F4> Service Partition, <F12> Network \\ \end{tabular}$ 

### 

「<Space> to abort memory test」のメッセージ表示中に<Space>キーを押すと、メモリ テストをスキップすることができます。 なお、ストリーミングサーバに搭載されているメモリの量によっては、メモリチェックが完了 するまでに数分かかる場合もあります。同様に再起動(リブート)した場合など、画面に表示を するのに1分程度の時間がかかる場合があります。

2. 続いてストリーミングサーバに内蔵のSCSIコントローラを検出し、SCSI BIOSセットアップユー ティリティの起動を促すメッセージが表示されます。

そのまま何も入力せずにいると数秒後にPOSTを自動的に続けます。

#### Press <Ctrl> <A> for SCSISelect(TM) Utility!

ここで<Ctrl>キーと<A>キーを押すとユーティリティが起動します。設定方法やパラメータの 機能については、6章の「SCSI BIOS」を参照してください。ユーティリティを使用しなければ ならない例としては次のような場合があります。

- 外付けSCSI装置を接続した場合
- システム内部のSCSI装置の接続を変更した場合

ユーティリティを終了すると、ストリーミングサーバは自動的にもう一度始めからPOSTを実行します。

- 3. 接続しているSCSI装置が使用しているSCSI ID番号などを画面に表示します。
- <ストリーミングサーバのPCIバスに起動可能なオプションROMを搭載したPCIボードを搭載して いる場合>

搭載したボードのBIOSセットアップユーティリティの起動を促すメッセージが表示されます。

ストリーミングサーバのPCIバスに起動可能なオプションROMを搭載したPCIボードを複数搭載 しているときは、通常、インターナルPCI→PCI #1→PCI #4→PCI #2→PCI #3の順で搭載して いるボードのBIOSセットアップユーティリティの起動メッセージを表示します(搭載したボード により順番が変更になる場合もあります)。操作方法については、それぞれのボードに添付の説明 書を参照してください。

- 5. 次に、CPUや接続しているキーボード、マウスなどを検出したことを知らせるメッセージを表示 します。
- 6. その後、以下のメッセージが表示されます。

パターン1\*:

Press <ESC> to view diagnostic messages Press <F2> to enter SETUP or Press <F12> to Network

パターン2\*:

Press <ESC> to view diagnostic messages Press <F2> to enter SETUP, <F4> Service Partition, <F12> Network

パターン3\*:

 $\label{eq:express} $$ Press <ESC> to view diagnostic messages $$ Press <F1> to resume, <F2> to Setup, <F12> to Network $$ Press <F1> to resume, <F2> to Setup, <F12> to Network $$ Press <F1> to resume, <F2> to Setup, <F12> to Network $$ Press <F1> to resume, <F2> to Setup, <F12> to Network $$ Press <F1> to Setup, <F12> to Network $$ Press <F1> to Setup, <F1> to S$ 

パターン4\*:

 $\label{eq:expansion} Press <\!\!ESC\!\!> to view diagnostic messages \\ Press <\!\!F1\!\!> to resume, <\!\!F2\!\!> Setup, <\!\!F4\!\!> Service Partition, <\!\!F12\!\!> Network \\$ 

\*装置の状態によって、メッセージの内容は異なります。

それぞれのキーを入力した場合の動作や起動するユーティリティは以下のようになっています。 通常では、特に起動する必要はありません。



 <ESC>キーを押下した場合、POSTの終わりでBootメニューを表示します。このメニュー から起動するデバイスを選択することができます。

- 1. CD-ROM Drive
- 2. +Removable Devices
- 3. +Hard Drive
- 4. IBA GE Slot 0118 v1109
- 5. IBA GE Slot 0119 v1109

<Enter Setup>

- <F2>キーを押した場合、BIOSセットアップユーティリティを起動します。ストリーミング サーバを使用する環境に合った設定に変更するときに起動してください。エラーメッセージ を伴った上記のメッセージが表示された場合を除き、通常では特に起動して設定を変更する 必要はありません。設定方法やパラメータの機能については。6章を参照してください。
- <F4>キーを押した場合、保守用パーティションから起動します。保守用パーティションについては、「保守用パーティションの設定(152ページ)」を参照してください。
- <F12>キーを押下した場合、ネットワークブートを実行します。
- 「Press <F1> to resume」のメッセージが表示される場合は、POST中に何らかの異常を 検出しています。メッセージの内容や対処方法については、次項の「POST中のエラーメッ セージ」を参照してください。エラーメッセージが表示されている場合でも、<F1>キーを押 すと起動します。
- 8. BIOSセットアップユーティリティ「SETUP」でパスワードの設定をすると、パスワードを入力 する画面が表示される場合があります。

パスワードの入力は、3回まで行えます。3回とも入力を誤るとストリーミングサーバを起動でき なくなります。この場合は、ストリーミングサーバの電源をOFFにしてから、10秒程度時間をあ けてから再度、ストリーミングサーバの電源をONにしてストリーミングサーバを起動し直してく ださい。

### **\_-**0 iii

OSをインストールするまではパスワードを設定しないでください。

9. POSTを終了するとOSを起動します。

### POSTのエラーメッセージ

POST中にエラーを検出するとディスプレイ装置の画面にエラーメッセージを表示される か、ビープ音が鳴ります。エラーメッセージの表示内容やビープ音の鳴り方、その意味や 対処方法については、次項を参照してください。



保守サービス会社に連絡するときはディスプレイの表示やビープ音の鳴り方をメモして おいてください。アラーム表示は保守を行うときに有用な情報となります。

# エラーメッセージ

ストリーミングサーバに何らかの異常が起きるとさまざまな形でエラーを通知します。ここでは、エラーメッセージの種類について説明します。

### ランプによるエラーメッセージ

ストリーミングサーバの前面や背面にあるランプはさまざまな状態を点灯、点滅、消灯によるパターンや色による表示でユーザーに通知します。「故障かな?」と思ったらランプの表示を確認してください。ランプ表示とその意味については1章をご覧ください。

### POST中のエラーメッセージ

ストリーミングサーバの電源をONにすると自動 的に実行される自己診断機能「POST」中に何らか の異常を検出すると、ディスプレイ装置の画面 にエラーメッセージが表示されます(場合によっ てはその対処方法も表示されます)。



メモリの故障を示すメッセージ(例ではメモリ) #1が故障した場合の表示)

また、ビープ音のパターンでエラーを通知することもあります。 次ページ以降の表で、画面に表示されるメッセージやビープ音とその意味、対処方法に ついて説明します。



保守サービス会社に連絡するときはディスプレイの表示やビープ音のパターンをメモして おいてください。アラーム表示は保守を行うときに有用な情報となります。



ここで記載されているPOSTのエラーメッセージ一覧はストリーミングサーバ単体のもので す。マザーボードに接続されているオプションボードに搭載されているBIOSのエラーメッ セージとその対処方法についてはオプションに添付の説明書を参照してください。

### ディスプレイに表示されるエラーメッセージ

次にエラーメッセージの一覧と原因、その対処方法を示します。

ディス	スプレイ上のエラーメッセージ	意味	対処方法
0200	Failure Fixed Disk	ハードディスクエラー。	保守サービス会社に連絡してくだ さい。
0210	Stuck Key	キーボード接続エラー。	キーボードを接続し直してください。
0211	Keyboard error	キーボードエラー。	<ul> <li>キーボードを接続し直してく</li> </ul>
0212	Keyboard Controller Failed	キーボードコントローラエラー。	<ul> <li>再起動してください。問題が 解決されない場合は、保守 サービス会社に連絡してくだ</li> </ul>
0213	Keyboard locked - Unlock key switch.	キーボードがロックされている。	さい。
0220	Monitor type does not match CMOS - Run SETUP	モニタのタイプがCMOSと一致しな い。	SETUPを起動してください。 SETUPで直らない場合は保守 サービス会社に連絡してくださ い。
0230	System RAM Failed at offset:	システムRAMエラー。	保守サービス会社に連絡してくだ さい。
0231	Shadow Ram Failed at offset:	シャドウRAMエラー。	
0232	Extended RAM Failed at address line:	拡張RAMエラー。	
0250	System battery is dead - Replace and run SETUP	システムのバッテリがない。	保守サービス会社に連絡して、 バッテリを交換してください(本 装置を再起動後、SETUPを起動 して設定し直してください)。
0251	System CMOS checksum bad - Default configuration used	システムCMOSのチェックサムが正し くない。	デフォルト値が設定されました。SETUPを起動して、設定し 直してください。問題が解決され ない場合は、保守サービス会社に 連絡してください。
0252	Password checksum bad - Passwords cleared	パスワードのチェックサムが正しくな い。	パスワードがクリアされまし た。SETUPを起動して設定し直 してください。
0260	System timer error	システムタイマーエラー。	SETUPを起動して、時刻や日付 を設定し直してください。設定し
0270	Real time clock error	リアルタイムクロックエラー。	直しても同じエラーが続けて起き るときは保守サービス会社に連絡
0271	Check date and time setting	リアルタイムクロックの時刻設定に誤 りがある。	してください。
02B0	Diskette drive A error	フロッピーディスクドライブAの エラー。	SETUPを起動して、「Main」メ ニューの「Legacy Floppy A」、 「Legacy Floppy B」を設定し直 してください、設定し直しても同
02B1	Diskette drive B error	フロッピーディスクドライプBの エラー。	じてうーが続けて起きるときは保 守サービス会社に連絡してくださ い。

ディフ	ペプレイ上のエラーメッセージ	意味	対処方法
02B2	Incorrect Drive A type - run SETUP	フロッピーディスクドライブAのタイ プが正しくない。	SETUPを起動して、設定し直し てください。問題が解決されない 増合け、保守サービス合社に連絡
02B3	Incorrect Drive B type - run SETUP	フロッピーディスクドライブBのタイ プが正しくない。	るロは、味すり一とスム社に運船してください。
02D0	System cache error - Cache disabled	システムキャッシュエラー。	キャッシュを使用できません。保 守サービス会社に連絡してくださ い。
02D1	System Memory exceeds the CPU's caching limit	メモリがCPUのキャッシュの限界を 超えた。	保守サービス会社に連絡してくだ さい。
02F5	DMA Test Failed	DMAテストエラー。	
02F6	Software NMI Failed	ソフトウェアNMIエラー。	
02F7	Fail-safe Timer NMI Failed	フェイルタイマのNMIエラー。	
0611	IDE configuration changed	IDEの構成エラー。	
0612	IDE configuration error- device disabled	IDEの構成デバイスエラー。	
0613	COM A configuration changed	シリアルポート1の構成エラー。	
0614	COM A config. error - device disabled	シリアルポート1の構成デバイス エラー。	
0615	COM B configuration changed	シリアルポート2の構成エラー。	
0616	COM B config. error - device disabled.	シリアルポート2の構成デバイス エラー。	
0617	Flopppy configuration changed	フロッピーディスクドライブの構成 エラー。	
0618	Floppy config. error - device disabled	フロッピーディスクドライブの構成 デバイスエラー。	
0B1B	PCI System Error on Bus/Device/Function	バス/デバイス/機能でPCIシステム エラーが発生した。	
0B1C	PCI Parity Error on Bus/Device/Function	バス/デバイス/機能でPCIパリティ エラーが発生した。	
0B22	Processors are installed out of order.	プロセッサ(CPU)の故障。	保守を依頼してプロセッサを交換 し て ください。
0B28	Unsupported Processor detected on Processor 1	CPU #1ソケットにサポートしていな いプロセッサ(CPU)が搭載されてい る。	本装置がサポートしているプロセ ッサであることを確認してくださ い 。
0B29	Unsupported Processor detected on Processor 2	CPU #2ソケットにサポートしていな いプロセッサ(CPU)が搭載されてい る。	wei&でさない場合は保守サービス 会社に連絡して保守を依頼してく ださい。

ディス	スプレイ上のエラーメッセージ	意味	対処方法
0B30	CPU Fan 1 Alarm occurred.	ファンの異常。	ファンの故障、またはファンの目 詰まりが考えられます。保守サー ビュ会社に連絡して保守を佐頼
0B31	CPU Fan 2 Alarm occurred.		てください。
0B32	Baseboard Fan 1 Alarm occurred.	-	
0B33	Baseboard Fan 2 Alarm occurred.		
0B34	Baseboard Fan 3 Alarm occurred.		
0B35	Baseboard Fan 4 Alarm occurred.		
0B50	Processor #1 with error taken off ine.	CPU#1でエラーを検出したため、 CPU#1を縮退した。	CPUが縮退しています。保守サー ビス会社に連絡してください。
0B51	Processor #2 with error taken offline.	CPU#2でエラーを検出したため、 CPU#2を縮退した。	
0B5F	Forced to use Processor with error	CPUエラーを検出した。	すべてのCPUでエラーを検出した ため、強制的に起動しています。 保守サービス会社に連絡してくだ さい。
0B60	DIMM group #1 has been disabled.	メモリエラーを検出した。メモリ#1が 縮退している。	保守サービス会社に連絡してくだ さい。
0B61	DIMM group #2 has been disabled.	メモリエラーを検出した。メモリ#2が 縮退している。	
0B62	DIMM group #3 has been disabled.	メモリエラーを検出した。メモリ#3が 縮退している。	
0B70	The error occurred during temperature sensor reading.	温度異常を検出する途中にエラーを 検出した。	
0B71	System Temperature out of the range.	温度異常を検出した。	ファンの故障、またはファンの 目詰まりが考えられます。保守 サービス会社に連絡して保守を 依頼してください。
0B74	The error occurred during voltage sensor reading.	電圧を検出中にエラーが起きた。	保守サービス会社に連絡してくだ さい。
0B75	System voltage out of the range.	システムの電圧に異常を検出した。	
0B78	The error occurred during fan sensor reading.	FANセンサの検出中にエラーが起き た。	
0B7C	The error occurred during redundant power module confirmation.	冗長電源を構成している途中でエラー を検出した。	保守サービス会社に連絡して電源 ユニットを交換してください。
0B7D	The normal operation can't be guaranteed with use of only one PSU.	本装置に必要な基本電源構成を満たしていない。	保守サービス会社に連絡して電源 ユニットを増設または交換してく ださい。

ディフ	スプレイ上のエラーメッセージ	意味	対処方法
0B80	BMC Memory Test Failed.	BMCデバイス(チップ)のエラー。	POWERスイッチにより電源を OFFにし、電源コードを抜き差し した後に、お動し直してくださ
0B81	BMC Firmware Code Area CRC check failed.		い。問題が解決されない場合は、 保守サービス会社に連絡してくだ さい。
0B82	BMC core hardware failure.		
0B83	BMC IBF or OBF check failed.	BMCのアドレスへのアクセスに失敗 した。	
0B8A	BMC SEL area full.	システムイベントログを書き込める 容量がない。	ESMPROをインストールしてい る本装置の場合、保守サービス会 社に連絡してくだい。ESMPRO をインストールされていない本装 置の場合、致命的な障害ではあり ませんが、SETUPを起動し、 「Server」 - 「EventLog Configuration」の「Clear Event Log」を実行してください。
0B8B	BMC progress check timeout.	BMCチェックを一時中断した。	POWERスイッチにより電源を OFFにし、電源コードを抜き差し した後に、お動し直してくださ
0B8C	BMC command access failed.	BMCコマンドアクセスに失敗した。	い。問題が解決されない場合は、 保守サービス会社に連絡してくだ さい。
0B8D	Could not redirect the console - BMC Busy -	コンソールリダイレクトができない (BMCビジー)。	
0B8E	Could not redirect the console - BMC Error -	コンソールリダイレクトができない (BMCエラー)。	
0B8F	Could not redirect the console - BMC Parameter Error -	コンソールリダイレクトができない (BMCパラメータエラー)。	
0B90	BMC Platform Information Area corrupted.	BMCデバイス(チップ)エラー。	
0B91	BMC update firmware corrupted.		
0B92	Internal Use Area of BMC FRU corrupted.	Chassis情報を格納したSROMの 故障。	
0B93	BMC SDR Repository empty.	BMCデバイス(チップ)エラー。	
0B94	IPMB signal lines do not respond.	IPMB (Intelligent Platform Management Bus)の故障。	
0B95	BMC FRU device failure.	Chassis情報を格納したSROMの 故障。	
0B96	BMC SDR Repository failure.	センサデータレコード情報を格納 したSROMの故障。	
0B97	BMC SEL device failure.	BMCデバイス(チップ)の故障。	
0B98	BMC RAM test error.	BMCRAMのエラー。	
0B99	BMC Fatal hardware error.	BMCのエラー。	

ディフ	、プレイ上のエラーメッセージ	意味	対処方法
0B9A	BMC not responding.	BMCのエラー。	POWERスイッチにより電源を OFFにし 電源コードを抜き美し
0B9B	Private I2C bus not responding.	プライベートI2Cバスより無応答。	した後に、起動し直してください。問題が解決されない場合は、 保守サービス会社に連絡してくだ
0B9C	BMC internal exception.	BMCのエラー。	さい。
0B9D	BMC A/D timeout error.	BMCのエラー。	
0B9E	SDR repository corrupt.	BMCのエラーまたはSDRのデータの 破損。	
0B9F	SEL corrupt.	BMCのエラーまたはシステムイベン トログのデータの破損。	
0BB0	SMBIOS - SROM data read error.	SROMのデータリードエラー。	
0BB1	SMBIOS - SROM data checksum bad.	SROMのデータチェックサムエラー。	
0BC0	POST detected startup failure of 1st Processor.	CPU #1のエラー。	保守サービス会社に連絡して該当 するCPUを交換ください。
0BC1	POST detected startup failure of 2nd Processor.	CPU #2のエラー。	
0BD0	1st SMBus address not acknowledged.	1st SMBusアクセスに対してデバイ スが無応答。	保守サービス会社に連絡してシステ ムイベントログで示されたボードを 交換ください。
0BD1	1st SMBus device Error detected.	1st SMBusアクセスに対してエラー を検出した。	
0BD2	1st SMBus timeout.	1st SMBusアクセスに対してタイム アウトを検出した。	
0BD3	2nd SMBus address not acknowledged.	2nd SMBusアクセスに対してデバイ スが無応答。	
0BD4	2nd SMBus device Error detected.	2nd SMBusアクセスに対してエラー を検出した。	
0BD5	2nd SMBus timeout.	2nd SMBusアクセスに対してタイム アウトを検出した。	
0BD6	3rd SMBus address not acknowledged.	3rd SMBusアクセスに対してデバイ スが無応答。	
0BD7	3rd SMBus device Error detected.	3rd SMBusアクセスに対してエラー を検出した。	
0BD8	3rd SMBus timeout.	3rd SMBusアクセスに対してタイム アウトを検出した。	
0BD9	4th SMBus address not acknowledged.	4th SMBusアクセスに対してデバイ スが無応答。	
0BDA	4th SMBus device Error detected.	4th SMBusアクセスに対してエラー を検出した。	
0BDB	4th SMBus timeout.	4th SMBusアクセスに対してタイム アウトを検出した。	
0BDC	5th SMBus address not acknowledged.	5th SMBusアクセスに対してデバイ スが無応答。	
0BDD	5th SMBus device Error detected.	5th SMBusアクセスに対してエラー を検出した。	
0BDE	5th SMBus timeout.	5th SMBusアクセスに対してタイム アウトを検出した。	

ディフ	スプレイ上のエラーメッセージ	意味	対処方法
0BE8	IPMB address not acknowledged.	IPMBアクセスに対してデバイスが 無応答。	保守サービス会社に連絡してくだ さい。
0BE9	IPMB device Error detected.	IPMBアクセスに対してエラーを検出 した。	
OBEA	IPMB timeout.	IPMBアクセスに対してタイムアウト を検出した。	
8120	Unsupported DIMM detected in DIMM group #1.	本装置でサポートしていないDIMMを 検出した。	保守サービス会社に連絡して該当 するグルーブのDIMM(2枚)を交換 してください。
8121	Unsupported DIMM detected in DIMM group #2.		
8122	Unsupported DIMM detected in DIMM group #3.		
8130	Mismatch DIMM detected in DIMM group #1.	DIMMグループ内のDIMMの種類が 一致していない、あるいは、DIMM が1枚しか搭載されていない。	DIMMの取り付け状態を確認して ください。問題が解決されない 場合は、保守サービス会社に連絡 してください。あるいは、DIMM
8131	Mismatch DIMM detected in DIMM group #2.		に貼り付けられているラベルを 見て、DIMMグループごとに同じ 種類のDIMMが取り付けられて いることを確認してください。
8132	Mismatch DIMM detected in DIMM group #3.		異なっている場合は、保守サービ ス会社に連絡してDIMMを交換し てください。
8140	DIMM group #1 with error is enabled.	メッセージにあるグループでエラーを 起こしたDIMMを検出した。	保守サービス会社に連絡して該当 するグループのDIMM(2枚)を交換 してください。
8141	DIMM group #2 with error is enabled.		
8142	DIMM group #3 with error is enabled.		
8150	NVRAM Cleard By Jumper.	ジャンパ設定によりNVRAMをクリア した。	電源OFF後、ジャンパの設定を元 に戻してください。
8151	Password Cleared By Jumper	ジャンパ設定によりパスワードを クリアした。	
8160	Mismatch Processor Speed detected on Procesor 1.	CPU #1の周波数が合っていない。	CPUの周波数を確認してくださ い。確認できない場合は保守サー ビス会社に連絡してください。
8161	Mismatch Processor Speed detected on Procesor 2.	CPU #2の周波数が合っていない。	
8170	Processor 1 not operating at intended frequency.	期待する周波数でCPUが動作していな い。	
8171	Processor 2 not operating at intended frequency.		
817F	All Processors not operating at intended frequency.		

ディスプレイ上のエラーメッセージ	意味	対処方法	
8200 Online Spare Memory was not ready.	オンライン・スペア・メモリ機能を有 効にできないDIMMボード実装状態で す。	DIMMに貼り付けられているラベ ルを見て、「オンライン・スペ ア・メモリ機能」に沿ったDIMM が取り付けられていることを確認 してください。問題が解決されな い場合は、保守サービス会社に連 絡してください。	
NOTICE:Your System Redundant Power Supply is not Configured.	非冗長電源構成で動作中です。	エラーではありません。	
Expansion Rom not initialized.	PCIカードの拡張ROMが初期化されない。	SETUPを起動し、「Advanced」- 「PCI Configuration」で設定を 変更してください。OSの起動に関 係しないPCIデバイスのOption ROMは「Disabled」に設定する ことができます。	
Invalid System Configuration Data.	システム構成データが破壊されていま す。	保守サービス会社に連絡してくだ さい。	
Invalid System Configuration Data Read Error.	システム構成データのリードエラー。		
System Configuration Data Write Error.	システム構成データのライトエラー。		
Resource Conflict.	PCIカードのリソースが正しくマッ ピングされていない。		
WARNING:IRQ not configured.	PCIカード割り込みが正しく設定され ていない。		

● ファンのエラーメッセージとファンの取り付け位置





メモリのエラーメッセージとメモリの取り付け位置

DIMMは2枚で1つのグループを構成します。



### ビープ音によるエラー通知

POST中にエラーを検出しても、ディスプレイ装置の画面にエラーメッセージを表示できない場合があります。この場合は、一連のビープ音でエラーが発生したことを通知します。 エラーはビープ音のいくつかの音の組み合わせでその内容を通知します。 たとえば、ビープ音が1回、連続して3回、1回、1回の組み合わせで鳴った(ビープコード: 1-3-1-1)ときはDRAMリフレッシュテストエラーが起きたことを示します。

次にビープコードとその意味、対処方法を示します。

ビープコード	意味	対処方法
1-2	Video BIOSの初期化エラー	ディスプレイ装置になにも表示されない場合は、ディ スプレイのコネクタの取り付け状態を確認してくださ い。問題が解決されない場合は、保守サービス会社に 連絡して、マザーボードを交換してください。 増設したPCIボードのオブション ROMの展開が表示さ
1-2	オプションROM初期化エラー	れない場合は、PCIボードの取り付け状態を確認してく ださい。問題が解決されない場合は、保守サービス 会社に連絡して、マザーボード、増設したPCIボードを 交換してください。
1-2-2-3	ROMチェックサムエラー	保守サービス会社に連絡して、マザーボードを交換し てください。
1-3-1-1	DRAMリフレッシュテストエラー	DIMMボードの取り付け状態を確認してください。問題 が解決されない場合は、保守サービス会社に連絡し て、DIMMボードまたはマザーボードを交換してくださ い。
1-3-1-3	キーボードコントローラエラー	キーボードを接続し直してください。問題が解決され ない場合は、保守サービス会社に連絡して、マザー ボードを交換してください。
1-3-3-1	メモリを検出できない。あるいは、 DIMMボードのタイプが異なる	DIMMボードの取り付け状態を確認してください。問題 が解決されない場合は、保守サービス会社に連絡し
1-3-4-1	DRAMアドレスエラー	$\begin{array}{c} (, \ \Box   v   w   w   w = 1 \text{ a class } y = m = 1 \text{ b c } \chi_{\text{B}} \cup ( < h c ) \text{ c } \\ ()_{0} \end{array}$
1-3-4-3	DRAMテストLow Byteエラー	-
1-4-1-1	DRAMテストHigh Byteエラー	
1-5-1-1	CPUの起動エラー	CPUの取り付け状態を確認してください。問題が解決
1-5-2-1	CPUが搭載されていない	またはマザーボードを交換してください。
1-5-2-3	CPU電圧が異なるCPUの混在エラー	増設したCPUがサポート対象品であることを確認して ください。問題がなければ次に、CPUが正しく取り付
1-5-2-4	フロントサイドバスの周波数が異な るCPUの混在エラー	けられていることを確認してください。問題が解決されない場合は、保守サービス会社に連絡して、CPUまたはマザーボードを交換してください。
1-5-4-4	 電源異常	内部のボードの故障が考えられます。保守サービス会 社に連絡して故障したボードの特定と交換を依頼して ください。
2-2-3-1	不正割り込みテストエラー	保守サービス会社に連絡してマザーボードを交換して ください。



ピープコード「1-5-4-2」の鳴動は停電や瞬断などによりAC電源の供給が遮断され、システムの再起動が行われたことを通知するものです。異常ではありません。

# MWAによる仮想LCDのエラーメッセージ

MWAのBMCダイアログボックスを開くことにより、管理対象のストリーミングサーバの仮想LCD(16桁×2行)を表示することができます。

MWAの詳細な説明は、EXPRESSBUILDER内の以下のパスに格納されている「MWAファー ストステップガイド」を参照してください。

#### CD-ROMドライブ:¥mwa¥doc¥jp¥mwa\_fsg.pdf

仮想LCDには、POST実行状況および運用中やDC OFF (AC電源はON)の間に発生したエ ラーの内容を表示します。表示内のAlert Standard Format (ASF)は、検査項目またはエ ラー内容をコードと簡単なメッセージで表したものです。次ページ以降にメッセージの内容 とその意味、対処方法を示します。



また、POST中にエラーを検出した場合は、POSTが終了した後、仮想LCD上のPOSTエ ラーコードを表示します。282ページの表を参照して、コードの意味と対処方法を確認して ください。

BMC - sample LAN	X
	サーハ状態の更新時間 19:02:24
LCD 0 B 3 2 DC 0n DC 0n	■ 更新 「 」 「 」 「 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」
システム     「電果獲時間:       1237 個 0 分       システム       説:     監視間高:	ユソソールも7替 OSジャットダウン ダンフ <sup>*</sup> 筐体識別
B001覧<         北中         1 秒           57114         1 たかress5800/1SS GeneralServer         1           号代目         単 1 01234567890         1	
	閉じる
・ エラーコード	

### 1行目の表示

メッセージ	意味	対処方法	
Prepare To Boot	POSTが正常に終了した。	エラーではありません。	
CPU Reconfigured	CPUを縮退した。	保守サービス会社に連絡して、シ ステムイベントログで表示され るCPUまたはマザーボードを交換 してください。	
Mem Reconfigured	メモリを縮退した。	保守サービス会社に連絡して、シ ステムイベントログで表示され るDIMMグループまたはマザー ボードを交換してください。	
PCI Bus PERR xx	PCIバスパリティエラーが発生した。	保守サービス会社に連絡してくだ	
PCI Bus SERR xx	PCIバスシステムエラーが発生した。		
Chipset Err xxxx	チップセットエラーが発生した。		
Mem Hot Sparing	オンライン・スペア・メモリ機能が実 施され、運用DIMMグループを切り替 えた。	オンライン・スペア・メモリ機能 により、連続運転が可能ですが、 保守サービス会社に連絡して、シ ステムイベントログで表示され るDIMMまたはマザーボードを交 換してください。	

### 2行目の表示

メッセージ	意味	対処方法
Proc Missing	CPUが実装されていない。	CPUの取り付け状態を確認してく ださい。問題が解決されない場合 は、保守サービス会社に連絡し て、CPUまたはマザーボードを交 換してください。
240VA Power Down	240VA Power Downが発生した。	保守サービス会社に連絡してくだ さい。
BB +1.5v Alm xx	1.5V異常が発生した。	保守サービス会社に連絡してくだ さい。
BB +2.5v Alm xx	2.5V異常が発生した。	
BB +3.3v Alm xx	3.3V異常が発生した。	
BB +3.3vs Alm xx	3.3VS異常が発生した。	
BB +5.0v Alm xx	5V異常が発生した。	
BB +12.0v Alm xx	12V異常が発生した。	
BB -12.0v Alm xx	-12V異常が発生した。	
VCCP 1 Alm xx	VR異常が発生した。	

メッセージ	意味	対処方法	
Battery Alm xx	マザーボード上のリチウムバッテリ異 常が発生した。	保守サービス会社に連絡して、マ ザーボード上のリチウムバッテリ またはマザーボードを交換してく ださい。	
Memory U-Err	メモリアンコレクタブルエラーが発生 した。	保守サービス会社に連絡して、シ ステムイベントログで表示され るDIMMグループまたはマザー ボードを交換してください。	
Bus Critical Err	バス異常が発生した。	保守サービス会社に連絡してくだ さい。	
Entering Setup	BIOSセットアップユーティリティを 起動中。	異常ではありません。	
SCSI A Term1 xx	SCSI CH#Aターミナル異常が発生し た。	保守サービス会社に連絡してくだ さい。	
SCSI A Term2 xx	SCSI CH#Aターミナル異常が発生し た。		
SCSI A Term3 xx	SCSI CH#Aターミナル異常が発生し た。		
SCSI B Term1 xx	SCSI CH#Bターミナル異常が発生し た。		
SCSI B Term2 xx	SCSI CH#Bターミナル異常が発生し た。		
SCSI B Term3 xx	SCSI CH#Bターミナル異常が発生し た。		
Processor 1 Hot	CPU#1 Hotが発生した。	保守サービス会社に連絡して、	
Processor 2 Hot	CPU#2 Hotが発生した。	ファン、CPUまたはマサーホード を交換してください。	
FP Temp Alm xx	フロントパネル温度異常が発生した。	ストリーミングサーバの設置環境 を確認してください。問題が解決 されない場合は、保守サービス会 社に連絡してください。	
Proc1 TempAlm xx	CPU#1温度異常が発生した。	保守サービス会社に連絡して、	
Proc2 TempAlm xx	CPU#2温度異常が発生した。	ファン、CPUまたはマサーホード を交換してください。	
BB Temp Alm xx	マザーボード温度異常が発生した。	保守サービス会社に連絡して、フ ァンまたはマザーボードを交換し てください。	
PDB Temp Alm xx	電源温度異常が発生した。	保守サービス会社に連絡して、電 源またはマザーボードを交換して ください。	
WDT timeout	ウォッチドッグタイムアウトが発生し た。	保守サービス会社に連絡してくだ さい。	
DUMP Request !	DUMPスイッチが押された。	故障ではありません。	
Memory C-Err Dis	メモリコレクタブルエラーが多発し、 イベントがディセーブルされた。	連続運転が可能ですが、保守サー ビス会社に連絡して、システムイ ペントログで表示されるDIMMま たはマザーボードを交換してくだ さい。	
Power Unit 1 Alm	電源ユニット1異常が発生した。	保守サービス会社に連絡して、電	
Power Unit 2 Alm	電源ユニット2異常が発生した。	<i>ホユー</i> ットまたはマサーホードを 交換してください。	

メッセージ	意味	対処方法	
CPU Fan 1 Alarm	CPU Fan 1異常が発生した。	ファンの故障、またはファンの	
CPU Fan 2 Alarm	CPU Fan 2異常が発生した。	ビス会社に連絡し保守を依頼して	
BB Fan 1 Alarm	BB Fan 1異常が発生した。		
BB Fan 2 Alarm	BB Fan 2異常が発生した。		
BB Fan 3 Alarm	BB Fan 3異常が発生した。		
BB Fan 4 Alarm	BB Fan 4異常が発生した。		
Cover Open	トップカバーが確実に閉じられていな い。	異常ではありません。トップ カバーをきちんと閉じなおしてく ださい。	

- ファン・電源ユニットのエラーメッセージと取り付け位置



- CPUのエラーメッセージとCPUの取り付け位置



# Windowsのエラーメッセージ

Windows Server 2003の起動後に致命的なエラー(STOPエラーやシステムエラー)が起きるとディスプレイ装置の画面がブルーに変わり、エラーに関する詳細なメッセージが表示されます。



画面のバックグラウンドの色は「ブルー」

画面に表示されたメッセージを記録して保守サービス会社に連絡してください。 また、このエラーが起きるとストリーミングサーバは自動的にメモリダンプを実行し任意の ディレクトリにメモリダンプのデータを保存します。「メモリダンプ(デバッグ情報)の設定」 (3章)を参照してください。

のちほど保守サービス会社の保守員からこのデータを提供していただくよう依頼される場合 があります。MOやDATなどのメディアにファイルをコピーしての保守員に渡せるよう準備 しておいてください。



#### STOPエラーやシステムエラーが発生しシステムを再起動したとき、仮想メモリが不足し ていることを示すメッセージが表示されることがありますが、そのまま起動してください。



このファイルをメディアにコピーする前に、イベントビューアを起動して、システムイベン トログでSave Dumpのイベントログが記録され、メモリダンプが保存されたことを確認 してください。

このほかにもディスクやネットワークなど内蔵デバイスや周辺装置にエラーが 起きた場合にも警告メッセージが表示されます。メッセージを記録して保守サービス会社に 連絡してください。

# サーバ管理アプリケーションからのエラーメッセージ

ESMPRO/ServerAgentやESMPRO/ ServerManager、Power Console Plus、Adaptec Storage Manager -Browser Editionなどストリーミングサー パ専用の管理ツールをストリーミングサー パや管理PCヘインストールしておくと、 何らかの障害が起きたときに管理PCやス トリーミングサーパに接続しているディス プレイ装置から障害の内容を知ることがで きます。

💷 77-ht'a-7								- 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(y) ク	-ND ^	117"田						
	重要度	(4~	0	•	10本神)ト (すべ	10 10	¥	
標要	チェアリ	状態	317	マネージャ	コンホーネント	71-72	発生時刻	
回システムCPU高負荷回復		=e	CPU		(不明なサーハ)	10.8.46.106	1997/01/29 17:13	
■ システムCPU異常高負荷	فت	73	CPU		{不明なサーハ}	10.8.46.106	1997/01/29 17:11	
■ システムCPU高負荷回復		39	CPU	comm1	ROLEX	198.22.3.100	1997/01/27 18:31	
■ システムCPU高負荷回復		1	CPU	comm1	ROLEX	198.22.3.100	1997/01/27 18:13	
■ システムCPU異常高負荷		-	CPU	comm1	ROLEX	198.22.3.100	1997/01/27 18:12	
■ システムCPU異常高負荷回復	وت	-19	CPU	comm1	ROLEX	198.22.3.100	1997/01/27 18:10	
■ システムCPU異常高負荷	14	-39	CPU	comm1	ROLEX	198.22.3.100	1997/01/27 17:54	
■ システムCPU商員何回復	1.		CPU	comm1	ROLEX	198.22.3.100	1997/01/27 17:25	
■ システムCPU商具何回爆	1		CPU		[小明なサーハ]	10.8.46.106	1997/01/27 14:08	
■ システムCPU商具何	وت	-19	CPU		14-09/37-07	10.8.46.106	1997/01/27 14:05	
■ システムCPU高負荷回復	1	-7.9	CPU	comm1	sheep	10.8.46.248	1997/01/16 19:29	
■ システムCPU高負荷回復		-19	CPU		1个明写为=73	10.8.46.106	1997/01/16 19:29	
E システムCPU商員商		5	CPU	comm1	sheep	10.8.46.248	1997/01/16 19:28	
■ システムCPU商具何回爆			OPU	comm1	sheep	10.8.46.248	1997/01/16 19:27	
■ システムCPU尚真何	1		CPU		1-1-明73.サーハ1	10.8.46.106	1997/01/16 19:27	
■ システムCPU高貫何回線		-19	CPU	comm1	sheep	10.8.46.248	1997/01/16 15:34	
■ システムCPU商員何		-19	CPU	comml	sheep	10.8.46.248	1997/01/16 15:33	
■ システムCPU商用何回復		-49	CPU	comm1	sheep	10.8.46.248	1997/01/16 15:26	
全体 18 件, 未読 3 件							情報 警告	異常 //

各種アプリケーションのインストールや運用方法については5章またはオンラインドキュメ ントを参照してください。

ESMPROを使ったシステム構築や各種設定の詳細についてはオンラインヘルプや、オン ラインドキュメントの「Express Server Management Guide」、別売の「ESMPROシステム 構築ガイド」で詳しく説明されています。

# トラブルシューティング

ストリーミングサーバが思うように動作しない場合は修理に出す前に次のチェックリストの 内容に従ってストリーミングサーバをチェックしてください。リストにある症状に当てはま る項目があるときは、その後の確認、処理に従ってください。

それでも正常に動作しない場合は、症状を記録してから、保守サービス会社に連絡してくだ さい。

### 装置本体について - 導入時の問題 -



- □ LANケーブルが接続されていない可能性があります。LANポート1にLANケーブル が正しく接続されているか確認してください。
- □ 本装置の起動が完了していない可能性があります。初回電源投入時にOSの再設定 を行うため、起動に数分~10分程度時間がかかる場合があります。
- □ サーバが正常に起動していない可能性があります。コンピュータ名の重複やIPアド レス/サブネットマスクの設定に誤りがないか確認してください。

同一ネットワーク上の複数の本装置を再インストールした場合、複数台同時に起動 すると2台目以降は正常に起動できません。1台ずつ起動して初期設定を行い、初 期設定完了後に次の1台を起動してください。

□ ネットワーク負荷が高い可能性があります。自動発見オプションの設定でオプションの値を変更してください。

#### 初期設定ツールでIPアドレスを変更できない

□ 初期設定ツール起動時に[次回からこのツールでの変更を不可にする]のチェック ボックスにチェックして設定を更新してしまうと、初期設定ツールを使用してIPア ドレス等を変更することができなくなります。

この場合は、WebUIを起動し、[ネットワーク]-[インターフェイス]より、変更を 行いたい対応したNICを選択し、タスクの[IP]をクリックすることで、IPアドレス などの設定を変更できるようになります。

#### 初期設定ツールで設定変更が開始できない

□ 初期設定ツールの一覧で「初期設定サービス」が停止となっている場合、初期設定 ツールによる設定変更はできません。管理ツールWebUIを使用して設定変更を行っ てください。

# 初期設定ツールでサーバの自動発見後や、サーバ選択時に初期設定変更サービスを停止するよう促されるメッセージが表示される

□ 初期設定ツールでは、IPアドレスやマシン名などを変更可能ですが、サーバでこれに対応する、初期設定変更サービスを起動したままにしておくと、セキュリティホールとなる可能性があります。そのため、初期設定ツールでは、そのような状態のサーバが存在する場合、サービスを停止するよう促すため、警告ダイアログメッセージを表示する仕様となっています。ご了承ください。



#### 初期設定ツールで設定変更ができない

- コンピュータ名やIPアドレスを誤って設定した可能性があります。同一ネットワーク上にコンピュータ名やIPアドレスが同じマシンが存在しないか確認してください。もしコンピュータ名やIPアドレスを重複して設定してしまった場合は、重複したマシンをいったんネットワークから切り離して、本装置を再起動し、初期設定ツールで設定変更してください。
- □ 複数のLANポートにケーブルが接続されている可能性があります。複数のLANポートを使用する場合は、まずLANポート1のみにケーブルを接続して初期設定を行い、初期設定完了後に残りのコネクタにケーブルを接続してください。

#### 初期設定ツールで管理ツールWebUIの起動ができない。

- □ ストリーミングサーバの一覧でWebUI起動が可となっているサーバに対して 管理 ツールWebUIの起動ができない場合は、ネットワークの設定またはブラウザの設定 に問題がある可能性があります。 本装置および、初期設定ツールを動作させてい るWindowsマシンのネットワークの設定、およびブラウザの設定を確認してくだ さい。 なお、管理ツールWebUIは Internet Explorer 5.5以上で動作します。初期 設定ツールを使用する前に、通常使用するブラウザをInternet Explorer 5.5以上に 設定しておいてください。
- □ ストリーミングサーバの一覧でWebUI起動が不可となっている場合、管理ツール WebUIの起動はできません。初期設定サービスが起動中の場合は、初期設定ツール で正しく設定変更を行ってください。初期設定サービスが停止の場合は、ネット ワークの設定に問題がある可能性があります。初期設定ツールを動作させている Windowsマシンのネットワークの設定を確認してください。

#### 初期設定ツールでWebUI起動が不可と表示される

- □ 初期設定が完了していない場合は、WebUI起動が不可となります(DHCPサーバか らアドレスを取得できない場合)。初期設定ツールで初期設定を行ってください。
- □ 初期設定が完了したストリーミングサーバについてWebUI起動が不可となる場合 は、ネットワークの設定に問題がある可能性があります。本装置および、初期設定 ツールを動作させているWindowsマシンが同一ネットワークに属しているか確認 してください。
- □ WebUI起動の確認に時間がかかり、不可となってしまう場合があります。もう一度 自動発見を行って可とならないか確認してください。なお、ストリーミングサーバ の一覧でWebUI起動が不可となっている場合、管理ツールWebUIの起動はできま せん。

## 装置本体について - 運用時の問題 -

#### 全面源がONにならない

- □ 電源がストリーミングサーバに正しく供給されていますか?
  - → 電源コードがストリーミングサーバの電源規格に合ったコンセント(または UPS)に接続されていることを確認してください。
  - → ストリーミングサーバに接続されている電源コードを使用してください。また、電源コードの被覆が破れていたり、プラグ部分が折れていたりしていないことを確認してください。
  - → 接続したコンセントのブレーカがONになっていることを確認してください。
  - → UPSに接続している場合は、UPSの電源がONになっていること、およびUPS から電力が出力されていることを確認してください。詳しくはUPSに添付の 説明書を参照してください。 また、ストリーミングサーバのBIOSセットアップユーティリティでUPSとの 電源連動機能の設定ができます。 <確認するメニュー: [Server] → [AC-LINK] → [Power On ]>
- □ POWERスイッチを押しましたか?
  - → ストリーミングサーバ前面にあるPOWERスイッチを押して電源をON(POWER ランプ点灯)にしてください。

### 🖌 起動しない

- □ CD-ROMドライブにEXPRESSBUILDER CD-ROMをセットしていませんか?
  - → CD-ROMドライブにEXPRESSBUILDER CD-ROMをセットしている場合は、 CD-ROMから起動しています。CD-ROMを取り出して再起動してください。
- □ 起動設定は正しいですか?
  - → いったん、EXPRESSBUILDER CD-ROMをセットして本装置を起動してください。EXPRESSBUILDER CD-ROMから起動することにより、内部設定がデフォルト値に戻ります(通常の運用には支障ありません)。それでも起動できない場合は、本体のマザーボード上にあるCMOSメモリの内容をクリアしてください。詳細な手順については、6章を参照してください。

#### <u>ブラウザがWebUIを見つけることができない</u>

- □ 正しいURLを入力していますか?
  - → 正しいURLは、「https://hostname:8098/」または「http://hostname:8099/」 です。「hostname」の部分には本装置のコンピュータ名またはIPアドレスを入力 してください。
- □ 正しいポート番号を指定していますか?
  - → ポート「8098」を使用する場合は、URLウィンドウでhttps://を指定していることを確認してください。https://を付けずにアプリケーションのアドレスを入力すると、動作しません。

#### WebUIが正しく動作しない

- □ 正しいWebブラウザを使用していますか?
  - → サポートしているWebブラウザは、Internet Explorer 5.5以降です。それ以外 のバージョンおよびNetscapeはサポートしていないので、正しく動作しません。

### WebUIに接続すると、ブラウザで「ページが表示できません」というエラー画面が表示 される

- □ 正しいURLを指定していますか?また、マシン名やIPアドレス等を変更していませんか?
  - → ネットワーク負荷がかかっているか、本装置へのアクセスが集中して、レスポンスが遅くなっている可能性があります。しばらく待ってから再びアクセスしてください。
  - → 本装置の管理Webサイトが停止している可能性があります。リモートデスク トップ機能を用いるか、本装置を直接操作し、以下の操作を行ってください。
    - 本装置のデスクトップの「インターネット インフォメーション サービス (IIS)マネージャ」を起動する。
    - 2. 左側のツリーより[サーバー名]-[Webサイト]を開く。
    - [Administration]が停止していた場合、選択して右クリックし、[開始]を 選択する。
  - → 必要なサービスが停止している可能性があります。リモートデスクトップ機能 を用いるか、本装置を直接操作し、下記サービスが起動していることを確認し てください。
    - IIS Admin Service
    - Web Wide Web Publishing Service
    - HTTP SSL

### WebUIに接続すると、ブラウザで「Internet Explorerのセキュリティの設定により、リ モート管理用Webインターフェイスは利用できません。」という画面が表示される。

- □ クライアント側のブラウザは正しく設定されていますか?
  - → WebUIにアクセスするには、クライアント側のスクリプトを有効にしなければなりません。また、WebUIの機能のいくつかはActiveXコントロールとファイルのダウンロードが有効である場合にのみ正しく動作します。 Internet Explorerを使用する場合、ゾーンの構成に応じて、「信頼済みサイト」または「ローカルイントラネット」のゾーンにそのWebサイトを追加することで、これらの機能を有効にすることができます。セキュリティゾーンおよび設定についての詳細は、Internet Explorerのヘルプを参照してください。 なお、WebUIを「信頼済みサイト」または「ローカルイントラネット」のセキュリティゾーンに追加するには以下の手順で行います。
    - Internet Explorerの[ツール]-[インターネット オプション]をクリックする。
    - [セキュリティ]タブをクリックし、[信頼済みサイト]または[イントラネット]をクリックしてから、[サイト]をクリックする。
    - [次の Web サイトをゾーンに追加する]ボックスに、このゾーンに追加するWebサイトのインターネットアドレスを入力して、[追加]をクリックする。

### WebUIの各種ページに接続すると、ブラウザで「ページが表示できません」というエ ラー画面や白いページが表示される

- □ 必要なWebサイトが停止していませんか?
  - → 以下の操作を行い、Webサイトを開始してください。
    - 1. WebUIの[メンテナンス]-[リモートデスクトップ]より、本装置にログオ ンする。
    - デスクトップの「インターネット インフォメーション サービス(IIS)マネー ジャ」を起動する。
    - 3. 左側のツリーより[サーバー名]-[Webサイト]を開く。
    - 4. 停止しているWebサイトを選択して右クリックし、[開始]を選択する。
- □ 必要なサービスが停止していませんか?
  - → リモートデスクトップ機能を用いるか、本装置を直接操作し、必要なサービス が起動していることを確認してください。(該当サービスについては各説明書を 参照してください。)
- □ 本装置の「インターネット接続ファイアウォール」の詳細設定を正しく設定していま すか?
  - →「インターネット接続ファイアウォール」の詳細設定を行った際に適切なサービスポートを許可しなかった可能性があります。4章の「ファイアウォール設定」を 参照し、必要なサービスへのアクセスを許可してください。

なお、リモートデスクトップ機能が使用できない場合は、本装置を直接操作 し、4章の「ファイアウォール設定」の手順3以降を参照し、「リモートデスク トップ」サービスへのアクセスを許可する必要があります。

#### 🥑 リモートデスクトップ機能を使用した際に以下のエラーが表示される

VBScript: リモート デスクトップ エラー	×
サーバーへの接続エラー: WMS。この機能を使用するには、サーバーのリモート デスクトップを有効してください。	,
<u>OK</u>	

- □ リモートデスクトップへの接続制限数を超えていませんか?
  - → リモートデスクトップ接続で許可された最大接続数を超過している可能性があ ります。リモートデスクトップ接続している他の画面を終了させてください。

その後も同様のメッセージが表示される場合は、一度ブラウザを終了した後し ばらく経ってから操作を行ってください。約15分で使用されていないセッショ ンの場合は自動的に切断されます。

それでもメッセージが表示される場合は、本装置を再起動してください。

なお、リモート管理用として一度に実行できるセッションは2つのみです。セッ ションを実行したままにすると、他のユーザーの操作に影響を与える可能性が あります。処理が終わったら、必ずセッションを切断してください。

- □ 本装置の「インターネット接続ファイアウォール」の詳細設定を正しく設定していま すか?
  - →「インターネット接続ファイアウォール」の詳細設定を行った際に、「リモートデ スクトップ」を許可しなかった可能性があります。

この状態になってしまうと、リモートデスクトップ機能は使用できません。本 装置を直接操作し、4章の「ファイアウォール設定」の手順3以降を参照し、「リ モートデスクトップ」他、必要なサービスへのアクセスを許可してください。

- □ リモートデスクトップへの接続設定を無効にしていませんか?
  - → 本装置の「マイコンピュータ」のプロパティの[リモート]設定で、リモートデス クトップ接続を許可するチェックボックスをはずしてしまった可能性がありま す。

本装置を直接操作し、上記チェックボックスを選択してください。

#### WebUIで設定した変更内容に更新されていない

□ 設定を変更したら、[OK]をクリックして、変更を有効にしてください。また再起 動の指示があった場合は、指示に従って再起動してください。

#### 電源がOFFにならない

- セッション中にPOWERスイッチを押しませんでしたか?
  - → リモートデスクトップでログイン時、もしくはセッションが切断されていない 状態で、ストリーミングサーバのPOWERスイッチを押してしまった可能性が あります。その場合、ストリーミングサーバのPOWERスイッチを押しても シャットダウンすることができません。この状態では、WebUIを使用した シャットダウン、リモートデスクトップからのシャットダウンができなくなり ます。ストリーミングサーバにキーボードもしくはマウスとディスプレイを接 続すると、画面に次のメッセージが表示されています。

Windows	X
1	ほかの人がこのコンピュータにログオンしています。Windows をシャットダウンするとその人のデータが失われる可能性があります。
	シャットダウンを続行しますか?
	[ 【また Y(Y)] ( パ いえ (N)

[OK]を選択してシャットダウンさせてください。

ここで、画面に何も表示されていない場合、もしくは、キーボード、もしくは マウスとディスプレイを接続できない場合は、ストリーミングサーバの POWERスイッチを、4秒程度押して、強制終了させてください。

- □ POWERスイッチの機能を無効にしていませんか?
  - → いったんストリーミングサーバを再起動して、BIOSセットアップユーティリ ティを起動してください。 <確認するメニュー:[Security]→[Power Switch Inhibit]→[Disabled]>
- □ ストリーミングサーバがSecure Modeで動作していませんか?
  - → Secure Mode中はPOWERスイッチが機能しません(強制電源OFFも含む)。 Secure Modeを解除するにはキーボードからBIOSセットアップユーティリ ティで設定したユーザーパスワードを入力してください。

### WebUIからシャットダウンを実行したが、電源がOFFにならない

セッション中にPOWERスイッチを押しませんでしたか?

 → リモートデスクトップでログイン時、もしくはセッションが切断されていない 状態で、ストリーミングサーバのPOWERスイッチを押してしまった場合、 WebUIからのシャットダウンは成功しません。上記のトラブルシューティング を参照して、対処してください。

POWERスイッチを押していない状態で、電源がOFFにならない場合は、最後のリモートデスクトップの使用から15分以上経過していることを確認した後、 POWERスイッチを押してください。それでも再起動できない場合は、システムがハングアップしている可能性があります。ストリーミングサーバの POWERスイッチを4秒程度押して、強制終了させてください。

#### VebUI画面で、上部に「状態:警告」もしくは「状態:情報」と表示される

- □ 警告・情報の内容を確認して消去を実行していますか?
  - → WebUIより警告がある場合に表示されます。「状態:警告」もしくは「状態:情報」の部分をクリックした後に、警告の対象となっているメッセージをクリックすると、警告内容の詳細が画面下部に表示されます。そこで「メッセージの消去」をクリックすることにより、状態が「状態:通常」と変化します。複数警告がある場合には、すべてのメッセージに対して上記操作を行ってください。

### WebUI画面でストリーミングタブの項目を選択した際や、ストリーミングタブのコン テンツ管理画面で操作した際に、SSL証明書に関する警告が表示される

- □ サーバ名を変更していませんか?
  - → 本装置では、SSL証明書をインストールして出荷していますが、お客様の環境でサーバ名を変更した場合、この証明書とサーバ名が異なるため、SSL証明書に関する警告が表示される場合があります。この問題を解決するには、3章「システムのセットアップ」の「サーバ証明書の更新」の処理を行ってください。

### 2 ストリーミング配信メニューのために、WebサーバでDefault Web Site(HTTP/ ポート80)を利用しようとしたが、利用できない

- □ 設定を正しく変更していますか?
  - → 本装置では、HTTPポート(ポート80)は、Windows Media Serviceでのスト リーミング配信用に使用されています。ストリーミング配信メニューのために Webサーバを立ち上げる場合は、Windows MediaサービスのHTTP配信機能を 停止した後に、Webサーバを起動する必要があります。以下の手順で設定して ください。
    - WebUIを起動し、[ストリーミング]-[Windows Mediaサービス9]を選択して、Windows MediaサービスのWeb管理インタフェースを起動する。
    - 2. マシン全体の[プロパティ]より、[制御プロトコル]を選択する。
    - [WMS HTTP サーバ制御プロトコル]をチェックした状態で[無効]をク リックし、プラグインを無効にする。
    - WebUIから[メンテナンス]-[リモートデスクトップ]を選択し、 Administrator権限のユーザーでログインした後、デスクトップ画面の[イ ンターネット インフォメーション サービス(IIS) マネージャ]のアイコン をクリックする。

5. [Webサイト]を展開し、[Default Web Site]を選択した状態で、右クリッ クし、「開始]を選択してWebページを有効化させる。

HTTPポート(ポート80)でのWebサーバが起動します。

Internet Information Services (IIS) Manag	er		_ 🗆 ×
〕ファイルE 操作(A) 表示(V) ウルドウ(W) ⇔ ⇒ E 図 × 留 図 區 2 里	<ul> <li>∧ルプ(H)</li> <li>▶ ■   </li> </ul>		<u>_8×</u>
Internet Information Service     Internet Information Service     Internet Information Service     Internet     Information Service     Internet     Information Service     Information     Internet     Information     Informatio     Information     Information     Information     Information	368 → oppet_dent > SpG1 ■ Extent Nm ■ pageror of	Γα	



### StreamPro/WM9S-Plusをアンインストールした後、再度インストールを行ったと ころ、ストリーミング管理画面が表示されない

□ SSLを正しく設定していますか?

→ StreamPro/WM9S-Plusはインストール時にSSLの設定を自動で行いません。 説明書を参照して、SSLの設定を行ってください。

# ⑦ プリンタ関連のエラーがイベントログに残っている

- □ 問題ありません。
  - → 管理PCにプリンタドライバが組み込まれている場合、リモートデスクトップ機 能を使用して本装置に接続するとプリンタ関連のエラーが本装置のイベントロ グに出力される場合がありますが、動作上の問題はありません。

### POSTが<u>終わらない</u>

- □ メモリが正しく搭載されていますか?
  - → 最低2枚1組のDIMMが搭載されていないと動作しません。
- □ 大容量のメモリを搭載していますか?
  - → 搭載しているメモリサイズによってはメモリチェックで時間がかかる場合が あります。しばらくお待ちください。
- □ ストリーミングサーバの起動直後にキーボードやマウスを操作していませんか?
  - → 記動直後にキーボードやマウスを操作すると、POSTは誤ってキーボードコン トローラの異常を検出し、処理を停止してしまうことがあります。そのときは もう一度、起動し直してください。また、再起動直後は、BIOSの起動メッセー ジなどが表示されるまでキーボードやマウスを使って操作しないよう注意して ください。
- □ ストリーミングサーバで使用できるメモリ・PCIデバイスを搭載していますか? → NECが指定する装置以外は動作の保証はできません。
- □ アレイボードは正しく取り付けられていますか?
  - → アレイボードの取り付け状態やハードディスクドライブとのケーブルの接続状 態を確認してください。

また、BIOSの設定についても確認してください。

- □ 画面上にエラーメッセージは出ていませんか?
  - → 画面上のエラーメッセージを確認し、適切な対処をしてください(→281ページ)。
- □ OS起動(ネットワークブートを含む)を行うPCIボードを除き、BIOSセット アップユーティリティの設定でPCIスロットのOptionROM設定がDisabledになっ ていますか?
  - → BIOSセットアップユーティリティで設定を確認してください。
     <確認するメニュー: 「Advanced」→「PCI Configuration」>

#### ▶ 内蔵デバイスや外付けデバイスにアクセスできない(または正しく動作しない)

- □ ケーブルは正しく接続されていますか?
  - → インタフェースケーブルや電源ケーブル(コード)が確実に接続されていること を確認してください。また接続順序が正しいかどうか確認してください。
- □ 電源ONの順番を間違っていませんか?
  - → 外付けデバイスを接続している場合は、外付けデバイス、ストリーミングサー バの順に電源をONにします。
- □ ドライバをインストールしていますか?
  - → 接続したオプションのデバイスによっては専用のデバイスドライバが必要なものがあります。デバイスに添付の説明書を参照してドライバをインストールしてください。
- □ 本装置で使用できるSCSI装置ですか?
  - → NECが指定する装置以外の動作は保証できません。
- □ SCSI装置の設定を間違えていませんか?
  - → 外付けSCSI装置を接続している場合は、SCSI IDや終端抵抗などの設定が必要 です。詳しくはSCSI装置に添付の説明書を参照してください。
- □ BIOSの設定を間違えていませんか?
  - → PCIデバイスを接続している場合は、ストリーミングサーバのBIOSセットアッ プユーティリティでPCIデバイスの割り込みやその他の詳細な設定をしてください。PCIデバイスについては通常、特に設定を変更する必要はありませんが、 ボードによっては特別な設定が必要なものもあります。詳しくはボードに添付 の説明書を参照して正しく設定してください。
    <確認するメニュー:「Advanced」→「Advanced Chipset Control」→「PCI</p>
    - Device]>
  - → シリアルポート、USBポートに接続しているデバイスについては、I/Oポート アドレスや動作モードの設定が必要なものもあります。デバイスに添付の 説明書を参照して正しく設定してください。
     <確認するメニュー: 「Advanced」→ 「I/O Device Configuration」>
- □ SCSIコントローラ(オプション)の設定を間違えていませんか?
  - → オプションのSCSIコントローラボードを搭載し、SCSI装置を接続している 場合は、SCSIコントローラボードが持つBIOSセットアップユーティリティで 正しく設定してください。詳しくはSCSIコントローラボードに添付の説明書を 参照してください。 なお、SCSIコントローラボードが持つBIOSセットアップユーティリティを 設定する際は、設定をするスロット以外の本体のBIOSセットアップユーティリ ティのOption ROM設定をDisabled設定にしてください。
    - <確認するメニュー: 「Advanced」→「PCI Configuration」>

## ② キーボ<u>ードやマウスが正しく機能しない</u>

- □ ケーブルは正しく接続されていますか?
  - → ストリーミングサーバ背面にあるコネクタに正しく接続されていることを確認 してください。
  - → ストリーミングサーバの電源がONになっている間に接続すると正しく機能しま せん(USBデバイスを除く)。いったんストリーミングサーバの電源をOFFに してから正しく接続してください。
- □ BIOSの設定を間違えていませんか?
  - → ストリーミングサーバのBIOSセットアップユーティリティでキーボードの機能 を変更したり、マウスを無効にしたりすることができます。BIOSセットアップ ユーティリティで設定を確認してください。 <確認するメニュー: 「Advanced | → 「I/O Device Configuration | →  $[PS/2 Mouse], [Advanced] \rightarrow [Numlock]>$
- □ ストリーミングサーバがSecure Modeで動作していませんか?
  - → Secure Mode中はキーボードやマウスが機能しません。Secure Modeを解除 するにはキーボードからBIOSセットアップユーティリティで設定したユーザー パスワードを入力してください。

#### フロッピーディスクにアクセス(読み込みまたは書き込みが)できない

- □ フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットしていますか?
  - → フロッピーディスクドライブに[カチッ]と音がするまで確実に差し込んでくだ さい。
- □ 書き込み禁止にしていませんか?
  - → フロッピーディスクのライトプロテクトスイッチのノッチを「書き込み可」に セットしてください。
- - → フォーマット済みのフロッピーディスクを使用するか、セットしたフロッピー ディスクをフォーマットしてください。フォーマットの方法については、OSに 添付の説明書を参照してください。
- □ BIOSの設定を間違えていませんか?
  - → ストリーミングサーバのBIOSセットアップユーティリティでフロッピーディス クドライブを無効にすることができます。BIOSセットアップユーティリティで 設定を確認してください。 <確認するメニュー: 「Main」→「Legacy Diskette A」>
- □ ストリーミングサーバがSecure Modeで動作していませんか?
  - → Secure Mode中は、設定内容によってはフロッピーディスクドライブへの書き 込みが禁止されている場合があります。Secure Modeを解除するにはキーボー ドからBIOSセットアップユーティリティで設定したユーザーパスワードを入力 してください。
- □ ケーブルは確実に接続されていますか?
  - → フロッピーディスクドライブインタフェースケーブルが確実に接続されている ことを確認してください。

### ② <u>CD-ROMにアクセスできない</u>

- □ CD-ROMドライブのトレーに確実にセットしていますか?
  - → トレーにはCD-ROMを保持するホルダーがあります。ホルダーで確実に保持 されていることを確認してください。
- □ ストリーミングサーバで使用できるCD-ROMですか?
  - → Macintosh専用のCD-ROMは使用できません。
- □ ケーブルは確実に接続されていますか?
  - → CD-ROMドライブのケーブルが確実に接続されていることを確認してください。

・ 正しいCD-ROMを挿入したのに以下のメッセージが表示される

CD-ROMが挿入されていないか、誤った CD-ROMが挿入されています。 正しいCD-ROMを挿入してください。
OK

□ CD-ROMのデータ面が汚れていたり、傷ついていたりしていませんか?

- → CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出し、よごれ、傷などがないことを確認 してから、再度CD-ROMをセットし、[OK]をクリックしてください。
- ハードディスクドライブにアクセスできない
   (ディスクアレイで構成されているハードディスクドライブについてはディスクアレ
   イコントローラに添付の説明書を参照してください)
  - □ ストリーミングサーバで使用できるハードディスクドライブですか?
     → NECが指定する装置以外は動作の保証はできません。

#### PCIデバイスを増設後、正しく動作しなくなった

- □ ボードを正しく取り付けていますか?
  - → 8章を参照して正しく取り付け直してください。
- □ ボードに割り当てた割り込み設定を間違えていませんか?
   → 6章を参照して正しく設定してください。
- □ OS起動を行う、アレイボードを除き、BIOSセットアップユーティリティの設定で Option ROM設定が、SCSIカードの搭載スロットはDisabledになっていますか?
  - → BIOSセットアップユーティリティで設定を確認してください。 <確認するメニュー: 「Advanced」→「PCI Configuration」>
- ネットワークボードを増設し、ネットワークブートを行わない場合、BIOSセット アップユーティリティの設定で増設したSlotのOption ROM設定がDisabledになっ ていますか?
  - → BIOSセットアップユーティリティで設定を確認してください。 <確認するメニュー: 「Advanced」→「PCI Configuration」>



# ? ネットワーク上で認識されない

- □ ケーブルを接続していますか?
  - → ストリーミングサーバ背面にあるネットワークポートに確実に接続してくださ い。また、使用するケーブルがネットワークインタフェースの規格に準拠した ものであることを確認してください。
- □ BIOSの設定を間違えていませんか?
  - → ストリーミングサーバのBIOSセットアップユーティリティで内蔵のLANコント ローラを無効にすることができます。BIOSセットアップユーティリティで設定 を確認してください。 <確認するメニュー: 「Advanced」→「PCI Configuration」→

[Embedded NIC (Dual Gbit) |>

- □ プロトコルやサービスのセットアップを済ませていますか?
  - → ストリーミングサーバ専用のネットワークドライバをインストールしてくださ い。また、TCP/IPなどのプロトコルのセットアップや各種サービスが確実に 設定されていることを確認してください。
- □ 転送速度の設定を間違えていませんか?
  - → ストリーミングサーバに標準で装備されている内蔵のLANコントローラは、 転送速度が1Gbps、100Mbps、10Mbpsのどのネットワークでも使用するこ とができます。この転送速度の切り替えまたは設定は「PROSet」から行います が、「オートネゴシエーション最適速度」という機能は使用せず、「1000」、 「100」、「10」のどちらかに設定してください。また、接続しているHubと転送 速度やデュプレックスモードが同じであることを確認してください。

## Windows Media 9 Appliance Serverについて



- □ フロッピーディスクをセットしていませんか?
   → フロッピーディスクを取り出して再起動してください。
- □ EXPRESSBUILDERをセットしていませんか?
   → EXPRESSBUILDERを取り出して再起動してください。
- □ OSが破損していませんか?
  - → 修復プロセスを使って修復を試してください(321ページ)。

🎾 障害発生時、「自動的に再起動する」の設定で、設定どおりに動作しない

→ コントロールパネルの[システム]で障害発生時に「自動的に再起動する」の設定 にかかわらず、自動的に再起動する場合や再起動しない場合があります。再起 動しない場合は、手動で再起動してください。

[コントロールパネル]→[システム]→[詳細]→[起動/回復]



→ ブルー画面で電源をOFFにする時は、強制電源OFF(POWERスイッチを4秒間 押し続ける)を行ってください。一度押しでは電源はOFFになりません。

<u>ログオン後にイベントログを見るとクラッシュダンプやメモリに関するログがある</u>

#### 説明(D)

クラッシュ ダンプ を使用できません。NTはクラッシュ ダンプ に対してプート パーティションのページファイル を初期化できませんでした。システムに物理メモリが3.8GB以上あることが原因の可能性があり ます。



# ログが残らない場合がありますが、障害が起きた際に原因を早急に確認できるよう以 下の説明と同様の解決手段をとっておくことをお勧めします。ページングファイルサイズの説明については、4章の「ディスクとメモリ管理」を参照してください。

- □ メモリの増設をしていませんか?
  - → メモリを増設した場合は、ページングファイルのサイズも増やす必要があります。増設したメモリに相応するようにページングファイルのサイズを設定し直してください。

ページングファイルサイズは、搭載メモリ×1.5倍以上が基本です。

必ずOSパーティションに上記サイズを確保してください。STOPエラー発生時 にメモリダンプを採取するために必要です。

[コントロールパネル]の[システム]を選択し、[パフォーマンス]をクリックします。「仮想メモリ」の[変更]をクリックしてください。

初期サイズと最大サイズを変更し、[変更]をクリックします。

再起動が必ず必要です。

# ② リモートデスクトップより、Windows MediaサービスのMMC管理コンソールを起動した際に、管理できるサーバない

- □ マシン名を変更していませんか?
  - → Windows MediaサービスのMMC管理コンソールより起動すると、初期セット アップ等で、マシン名を変更した場合、管理対象サーバから、ローカルサーバ が消える場合があります。以下の手順で管理コンソールにローカルサーバを追 加することができます。
    - 1. 起動画面上の「→ Add a server」の矢印部分をクリックする。

6 Windows Media Services		_ [ ] 3
ファイル(E) 操作(会) 表示(Y)	NH7(B)	
← → 12°		
@ Windows Media サー€ス	Windows Media サービス 9 シリーズへようこそ はじめに	
	Streaming Media Basics Maria is reserved and/ Maria is reserved and/ Maria is reserved and/ Maria is reserved Maria and the second and the second and the second Maria and the second and the second and the second Maria and the second and th	Converge notas : the or pre-recorded axis and deconverse to the convergence across a convergence of the convergence of th
	Add a ser	rver

2. サーバの追加ダイアログボックスで、「localhost」と入力し、[OK]をクリックする。

サーバーの追加			X
サーバー名または IP アドレス(S):			
Jocanost	OK	++++++711.	∧ IL=?(H)
		49700	

以上の処理でローカルホストの管理ツリーが追加されます。

### ?

# 運用中にイベントビューアのイベントログに次のような内容の警告が記録される

イベントID:	13
ソース:	E1000
種類:	警告
説明:	Intel(R) 82544GC based network connection PROBLEM:Could not establish link. ACTION:Check network cable. ACTION:Run PROSet diagnostics.
イベントID: ソース: 種類: ジロ・	13 E1000 警告
武明:	PROBLEM:Could not establish link. ACTION:Check network cable. ACTION:Run PROSet diagnostics.
·· · · · / ··	

\* Teaming(チーミング)時には、以下も登録される場合があります。#0はTeam番号。
 ソース:iANSMiniport、イベントID:11, 13の警告も同様に登録される場合があります。

イベントID:	16
ソース:	iANSMiniport
種類:	エラー
説明:	Team #0:The last adapte

- Team #0:The last adapter has lost link. Network connection has been lost.
- □ 問題ありません。
  - → LANドライバをインストールした場合、システム起動時に上記のイベントログ が記録されますが、LANドライバの動作上問題ありません。

### ② LANドライバの速度設定を1000Mbpsから100Mbpsに変更したのにESMPRO/ 統合ビューアのデータビューアでネットワークの詳細を参照すると、設定したスピー ドが不正に表示(1000Mbps)される

- □ 問題ありません。
  - → LANドライバの速度設定を変更した場合、表示が不正になりますが、LANドラ イバの動作には影響ありません。

# 「コンピュータの管理」-「システムツール」-「システム情報」-「システム概要」表示に て、プロセッサのスピードが正しく表示されない

- □ 問題ありません。
  - → 表示が不正になりますが、装置の動作には問題ありません。

#### 🧉 <u>「システムプロパティ」-「全般」タブの中で、プロセッサの名称がずれて表示される</u>

→ 装置の動作には問題ありません。

#### 運用中にイベントビューアに下記内容のxxxの警告が登録される場合がある

イベントID: 37

説明: ライブラリ内で不明な問題が発生したため、WMI ADAP は"ファイル 名"パフォーマンスライブラリを読み込むことができませんでした。 また0x0Service Pack 3 CD-ROMを使用した場合は、CD-ROMドラ イブから抜き取ってください。

#### イベントID: 41

- 説明: Collect 関数で時間違反があったため、ADAP は"ファイル名"パフォーマンスライブラリを処理できませんでした。または009 サブキーで値が見つからなかったため、WMI ADAPはパフォーマンスライブラリ"ファイル名"のオブジェクトインデックス"インデックス番号"を作成しませんでした。
- イベントID: 61
- 説明: open関数で時間違反があったため、WMI ADAPは"ファイル名"パフォーマンスライブラリを処理できませんでした。
- □ 問題ありません。
  - → カウンタの問題またはWMI(Windows Management Instrumentation)パ フォーマンスライブラリdredgerの無効な正の戻り値が原因で登録されること がありますが、運用上は特に問題はありません。

# ?

運用中にイベントビューアに下記内容のLoadPerfの警告が登録される場合がある

イベントID: 2000

- 説明: インストールファイルでオブジェクトの一覧が見つかりませんでし た。オブジェクトの一覧をインストールファイルに追加すると、 パフォーマンスカウンタを計測するときに、システムのパフォーマン スが改善されます。
- □ 問題ありません。
  - → WMI(Windows Management Instrumentation)が表示されたパフォーマンス カウンタを求めることが原因で登録されることがありますが、運用上は特に問 題はありません。

### 運用中にイベントビューアに下記内容のrasctrsの警告が登録される場合がある。

イベントID: 2001

説明: インストールファイルでオブジェクトの一覧が見つかりませんでした。オブジェクトの一覧をインストールファイルに追加すると、 パフォーマンスカウンタを計測するときに、システムのパフォーマン スが改善されます。

- □ 問題ありません。
  - → Systemroot¥system32¥driversフォルダ配下にNDISWAN.SYSが存在するか どうか確認してください。システムの再起動後に本エラーが登録されていない 場合は、運用上は特に問題はありません。

## EXPRESSBUILDERについて

EXPRESSBUILDERからストリーミングサーバを起動できない場合は、次の点について確認 してください。

- □ POSTの実行中にEXPRESSBUILDERをセットし、再起動しましたか?
  - → POSTを実行中にEXPRESSBUILDERをセットし、再起動しないとエラーメッセージ が表示されたり、OSが起動したりします。
- □ BIOSのセットアップを間違えていませんか?
  - → ストリーミングサーバのBIOSセットアップユーティリティで起動デバイスの優先順 位を設定することができます。BIOSセットアップユーティリティでCD-ROM ドライブが最初に起動するよう順序を変更してください。 <確認するメニュー: [Boot]>

EXPRESSBUILDER実行中、何らかの障害が発生すると、以下のようなメッセージが表示 されます。メッセージを記録して保守サービス会社に連絡してください。

メッセージ	原因と処理方法
本プログラムの動作対象マシンではあり ません。	EXPRESSBUILDER の対象マシンではありません。対 象マシンで実行してください。
NvRAMへのアクセスに失敗しました。	不揮発性メモリ(NvRAM)にアクセスできません。
ハードディスクへの アクセスに失敗しま した。	ハードディスクが接続されていないか、ハードディス ク が異常です。ハードディスクが正常に接続されてい ることを確認して ください。
マザーボード上に装置固有情報が存在し ません。オフライン保守ユーティリティ の[システム情報の管理]を使用してパ ックアップした情報をリストアするか、 情報を書き込んでください。この作業は 保守員以外は行わないでください。オフ ライン保守ユーティリティを起動します か?	マザーボード交換時など、EXPRESSBUILDERが装置 固有情報を見つけられない場合に表示します。保守員 はオフライン保守ユーティリティを使用して情報を書 き込んでください。

この他にも障害を検出するとエラーメッセージが表示されます。表示されたメッセージを記録して保守サービス会社までご連絡ください。

ディスクアレイに関するセットアップ中に障害を検出するとディスクアレイのセットアップ をスキップします。このようなメッセージが現れた場合は、LSI Logicディスクアレイコン トローラまたはハードディスクドライブに障害が発生しているおそれがあります。保守サー ビス会社に保守を依頼してください。

# マスターコントロールメニューについて

# オンラインドキュメントが読めない

- □ Adobe Acrobat Readerが正しくインストールされていますか?
  - → オンラインドキュメントの一部は、PDF形式で提供されています。あらかじめ Adobe Acrobat Reader(Version 4.05以上)をご使用のオペレーティングシス テムヘインストールしておいてください。なお、Adobe Acrobat Readerは、 EXPRESSBUILDERからインストールすることができます。マスターコント ロールメニューを起動後、「ソフトウェアのセットアップ」の「Adobe Acrobat Reader」を選択してください。

# オンラインドキュメントの画像が見にくい

- □ ご使用のディスプレイは、256色以上の表示になっていますか?
  - → ディスプレイの設定が256色未満の場合は、画像が見にくくなります。256色 以上の表示ができる環境で実行してください。

### 🕐 マスターコントロールメニューが表示されない

- □ ご使用のシステムは、Windows NT 4.0以降、またはWindows 95以降ですか?
  - → CD-ROMのAutorun機能は、Windows Server 2003/Windows 2000、およびWindows NT 4.0、Windows 95以降でサポートされた機能です。それ以前のバージョンでは自動的に起動しません。ご注意ください。
- □ <Shift>キーを押していませんか?
  - → <Shift>キーを押しながらCD-ROMをセットすると、Autorun機能がキャンセ ルされます。
- □ システムの状態は問題ありませんか?
  - → システムのレジストリ設定やCD-ROMをセットするタイミングによっては メニューが起動しない場合があります。そのような場合は、CD-ROMの ¥MC¥1ST.EXEをエクスプローラ等から実行してください。

#### ▶ メニュー項目がグレイアウトされている

- □ ご使用の環境は正しいですか?
  - → 実行するソフトウェアによっては、管理者権限が必要だったり、本装置上で 動作することが必要だったりします。適切な環境にて実行するようにしてくだ さい。

# ディスクアレイについて

ディスクアレイに関するトラブルについては次の項目について確認してください。

ストリーミングサーバに標準装備のHostRAIDについては次に記載する内容、またはオンラインドキュメント「HostRAID SCSI*Select* Utilty操作説明書」および「HostRAID<sup>TM</sup> Adaptec Storage Manager<sup>TM</sup> Browser Editionユーザーズマニュアル」を参照してください。 オプションのディスクアレイに関するトラブルについてはオプションボードに添付の説明書を参照してください。

### ② <u>OSをインストールできない</u>

- □ ディスクアレイコントローラのコンフィグレーションを行いましたか?
  - → ディスクアレイコントローラのコンフィグレーションユーティリティを使って
     正しくコンフィグレーションしてください。
- □ ロジカルドライブを複数作成していませんか?
  - → ロジカルドライブを1つだけ作成してからインストールしてください。

#### ⑥ OSを起動できない

- □ ディスクアレイコントローラのBIOS設定が変更されていませんか?
  - → POSTの画面からディスクアレイBIOSユーティリティを起動してBIOSの設定 を正しい値に変更してください。
- □ POSTでディスクアレイコントローラを認識していますか?
  - → ディスクアレイコントローラが正しく接続されていることを確認してから電源 をONにしてください。
  - → 正しく接続していても認識されない場合は、ディスクアレイコントローラの故障が考えられます。契約されている保守サービス会社または購入された販売店へ連絡してください。

### 🕜 <u>リビルド(再構築)ができない</u>

- □ リビルドするハードディスクドライブの容量が少なくありませんか?
  - → 故障したハードディスクドライブと同じ容量のディスクを使用してください。
  - → 誤ったコンフィグレーション情報をリストアしていないか確認してください。
- □ 整合性チェックが実行中ではありませんか?
  - → 整合性チェック終了後、リビルドを開始してください。
- □ RAID構成が、RAID0ではありませんか?
  - → RAID0には冗長性がないため、リビルドはできません。故障したハードディス クドライブを交換して、再度コンフィグレーション情報を作成し、初期化して から、パックアップデータを利用して復旧してください。
- 🕜 オートリビルドが機能しない(増設DISK筐体なども含む)
  - □ ハードディスクドライブを交換(ホットスワップ)するときに十分な時間を空けましたか?
    - → オートリビルドを機能させるためにハードディスクドライブの取り外し・取り 付けには90秒以上の間隔を空けてください。
  - □ 整合性チェックが実行中ではありませんか?
    - → 整合性チェック終了後、リビルドを開始してください。

# ESMPROについて

#### ESMPRO/ServerAgent(Windows版)について

→ 5章でトラブルの回避方法やその他の補足説明が記載されています。参照してくだ さい。

#### ESMPRO/ServerManagerについて

→ 添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROM内のオンラインドキュメント「ESMPRO/ ServerManagerインストレーションガイド」でトラブルの回避方法やその他の補足 説明が記載されています。参照してください。

## Power Console Plusについて

→ 5章の説明を参照してください。

## バックアップ装置について

# システムのイベントログにSCSIポートエラーが記録される

→ バックアップ装置をストリーミングサーバのSCSIコントローラ(オンボードSCSI) に接続して使用する場合は、バックアップ装置のファームウェアアップデートが必 要になる場合があります。ファームウェアバージョンの確認およびファームウェア アップデートの方法は5章、「ストリーミングサーバソフトウェア」の「バックアップ 装置ファームウェアアップデートツール」を参照してください。

# 障害情報の採取

万一障害が起きた場合、次の方法でさまざまな障害発生時の情報を採取することができま す。



## イベントログの採取

ストリーミングサーバに起きたさまざまな事象(イベント)のログを採取します。



STOPエラーやシステムエラー、ストールが起きている場合はいったん再起動してから 作業を始めます。



オプションのCPUの中には異なる レビジョン(ステッピング)のものが 含まれている場合があります。異な るレビジョンのCPUを混在して取 り付けた場合、イベントビューアの システムログに以下のようなログが 表示されますが、動作には問題あり ません。

イベントのプロパティ				? ×
イベント				
日付: 時刻: 種類: ユーザー( <u>U</u> ): コンピュータ( <u>C</u> ):	2001/07/02 22:13 情報 N/A SERVER-1	ソース: 分類: イベント ID:	Application Popup なし 41	↑ ↓ ₽
説明( <u>D</u> ): このマルチプロセ てのプロセッサを セッサ(こ制限し この混合プロセ	2ッサ システムの C E使用するためにオ ます。このシステム ッサがサポートされ	PUは、一部 ペレーティング で問題が発生 、ているかどうか	が同じリビジョン レベルでは システムをシステムで可能 する場合は、CPU 製造デ を確認してください。	ありません。すべ な最小のプロ Eに聞い合わせて
データ(工): ・	·///ト( <u>B</u> ) (	) ワード( <u>w</u> )		
0000: 00 00 0008: 00 00 0010: 02 00 0018: 00 00 0020: 00 00	00 00 01 00 d 00 00 29 00 0 00 00 29 00 0 00 00 00 00 0 00 00 00 00 0 00 00	4 00 3 40 3 40 3 00 3 00	0. )0 )0	×
		OK	キャンセル	道用( <u>4</u> )

- コントロールパネルから[管理ツール]ー [イベントビューア]をクリックする。
- 2. 採取するログの種類を選択する。

[アプリケーション ログ]には起動してい たアプリケーションに関連するイベント が 記録されています。[セキュリティ ログ]にはセキュリティに関連するイベン トが記録されています。[システム ログ] にはWindowsのシステム構成要素で発生 したイベントが記録されています。

3. [操作]メニューの[ログファイルの名前を 付けて保存]コマンドをクリックする。



- 4. [ファイル名]ボックスに保存するアーカイブログファイルの名前を入力する。
- 5. [ファイルの種類]リストボックスで保存するログファイルの形式を選択し、[OK]ボタンをクリックする。

詳細についてはWindowsのオンラインヘルプを参照してください。

### 構成情報の採取

ストリーミングサーバのハードウェア構成や内部設定情報などを採取します。 情報の採取には「診断プログラム」を使用します。

■ STOPエラーやシステムエラー、ストールが起きている場合はいったん再起動してから 重要 作業を始めます。

- スタートメニューの[設定]をポイントし、[コントロールパネル]をクリックする。
   [コントロールパネル]ダイアログボックスが表示されます。
- [管理ツール]アイコンをダブルクリックし、[コンピュータの管理]アイコンをダブルクリック する。
   [コンピュータの管理]ダイアログボックスが表示されます。

[コンビュータの管理]タイアロクホックスが表示されます

- 3. [システムツール]-[システム情報]をクリックする。
- 4. [操作]メニューの[システム情報ファイル として保存]コマンドをクリックする。
- 5. [ファイル名]ボックスに保存するファイ ルの名前を入力する。
- 6. [保存]ボタンをクリックする。



### ワトソン博士の診断情報の採取

ワトソン博士を使ってアプリケーションエラーに関連する診断情報を採取することができます。ワトソン博士の詳細については、OSのヘルプを参照してください。

# メモリダンプの採取

障害が起きたときのメモリの内容をダンプし、採取します。ダンプをDATに保存した場合 は、ラベルに「NTBackup」で保存したか「ARCServe」で保存したかを記載しておいてくださ い。インストール時には自動的に保存先やページングファイル(仮想メモリ)サイズを設定し ますが、メモリを増設した場合には、システムのページングファイル(仮想メモリ)のサイズ をメモリ容量に応じて増やす必要があります。詳しくは「メモリの管理」(4章)を参照してく ださい。

- 保守サービス会社の保守員と相談した上で採取してください。正常に動作しているとき に操作するとシステムの運用に支障をきたすおそれがあります。
  - 障害の発生後に再起動したときに仮想メモリが不足していることを示すメッセージが 表示される場合がありますが、そのまま起動してください。途中でリセットして起動し 直すと、データを正しくダンプできない場合があります。

#### 採取時の注意事項

DUMPスイッチを押してダンプを実行した後にストリーミングサーバが再起動しない場合が あります。この場合、リセットスイッチ(27ページ参照)を押下しストリーミングサーバを再 起動してください。

### メモリダンプの採取

障害が発生し、メモリダンプを採取したいときにDUMP スイッチを押してください。スイッチを押すときには金 属製のピン(太めのゼムクリップを引き伸ばして代用可) をスイッチ穴に差し込んでスイッチを押します。

スイッチを押すと、メモリダンプは設定されている保存 先に保存されます(CPUがストールした場合などでは メモリダンプを採取できない場合があります)。



つま楊枝やプラスチックなど折れやすいものを使用 しないでください。



# IPMI情報のバックアップ

IPMI情報を採取します。情報を採取するためには、ESMPRO/ServerAgentがインストール されていなければなりません。

1. スタートメニューから[プログラム]-[ESMPRO ServerAgent]-[ESRASユーティリティ]を 選ぶ。

[ESRASユーティリティ]ウィンドウが表示されます。

- ツリービューより[最新情報]を選択して、ローカルコンピュータの情報を取得する。
   データが表示されれば取得ができたことになります。
- 3. [ファイル]メニューから[現在のIPMI情報 をバックアップする]をクリックする。
- バックアップ対象のコンピュータ名を 確認する。
- 退避するバックアップファイル名と保存 する場所を指定して[バックアップ]をク リックする。





IPMI情報扱ハジックアッフ <sup>®</sup>	?×
選択したサーバのIPMI情報なパックアッコリ.ます	
1)七°1-9名①	
/ <sup>(*</sup> יייז ליייז ליו. בלי (F):	
$\leftarrow$	参照( <u>S</u> )
コパト(C): サーバの機種名、障害発生内容等を入力してください。	
	<u> </u>
	7
<u> </u>	

# システムの修復

何らかの原因でシステムを起動できなくなった場合は、回復コンソールを使用してシステム の修復を行います。ただし、この方法は詳しい知識のあるユーザーや管理者以外にはお勧め できません。詳細については、オンラインヘルプを参照してください。



~Memo~